

令和4年10月14日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖北小学校
校長 天野 雄二

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和4年度全国学力・学習状況調査について

令和4年4月19日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

○国語の平均正答率は、全国平均をやや上回っていました。内容を分析すると、「知識及び技能」の中の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「思考力、判断力、表現力等」の中の「書くこと」の領域が特に正答率が高くなっていました。

(2) 算数について

○算数の平均正答率は、全国平均をやや上回っていました。内容を分析すると、「図形」や「データの活用」の領域が特に正答率が高くなっていました。

(3) 理科について

○理科の平均正答率は、全国平均をやや下回っていました。内容を分析すると、「地球」を柱とする領域や「粒子」を柱とする領域が特に正答率が低くなっていました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

(学習に対する興味・関心意欲)

- ・国語科学習、算数科学習への興味・関心は全国平均を上回っていました。
- ・理科学習への興味・関心は全国平均をやや下回っていました。

また、下記の項目については全国平均を上回っていました。

「学習の中でPCやタブレットなどは勉強の役に立つと思う」

「学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行っている」

「分かった点や分からなかった点を見直して次の学習につなげている」

「学級での話し合いを生かして、努力すべきことを決めて取り組んでいる」

「道徳の授業で、考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりしている」

(規範意識・自己有用感)

- ・規範意識や自己有用感を示す下記の項目については全国平均を上回っていました。

「将来の夢や目標を持っている」

「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」

「自分とちがう意見について考えるのは楽しい」

「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」

「人が困っているときには進んで助けている」

(生活習慣・学習習慣)

- ・朝食状況については、全国平均とほぼ同じ状況でした。
- ・家庭学習については、全国と比べて、「計画的に学習している」割合は上回っていました。
- ・家庭での読書環境については、全国と比べて上回っていました。
- ・「早寝早起き」「家庭でのパソコンやスマホに関する約束」については全国平均をやや下回っていました。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・児童の実態に応じて、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていきます。
- ・「学び合い」を通して互いに関わり合い、互いのよさを認め合う活動を算数科の授業を中心に各教科に取り入れていきます。
- ・電子黒板やデジタル教科書のさらなる有効活用に加え、タブレットなどICT機器の活用を継続し、より分かりやすい授業を目指します。

5 ご家庭でお願いしたいこと

- 「家庭学習の手引き」をもとに学習する時間帯を決めてください。

※年度当初に鳥栖中校区で作成したものを、また、10月には県で作成したものを配布しています。内容はほぼ同様です。）

- 「生活リズムアップ大作戦」を活用して、早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣を定着させてください。

- 頑張っていることや良くできたことをほめて、自尊心をさらに高めるようにしていただください。